

民生病院常任委員会審査概要報告書

委員長 中村 清志

- I 開催年月日 令和元年 10 月 23 日（水）
II 会議時間 午後 1 時 00 分～午後 1 時 28 分
III 出席委員等〔出席委員〕◎中村 清志 ○曾田 康司 山口 泰祐
石須 大雄 藪中 一夫 吉田 健太郎
本田 利麻 高畠 義一
（◎…委員長 ○…副委員長）
〔議長〕 狩野 安郎（公務のため欠席）
〔副議長〕 坂林 永喜
〔説明員〕 別紙名簿のとおり
（藪下病院長、布橋警防課長は公務のため、徳市保険年金課長は入院のため欠席）
〔委員外議員〕 角田 悠紀 林 貴文 酒井 善広
〔事務局職員〕 安東 浩志 松本 武司 室川 弘昭
堀田 寛之
〔傍聴者〕 なし

IV 審査の概要

1 報告事項について

〈 当局から、次のとおり報告・説明があった。 〉

〔市民生活部〕

- 。地区連絡センターにおける業務見直しについて

〈 委員から、次の質疑等があった。 〉

【地区連絡センターにおける証明書発行業務の停止について】

- マイナンバーカードの発行数は。
- △ これまで 28,817 件の申請があり、実際に発行した枚数は 24,534 枚で、令和元年 9 月末現在の住民基本台帳人口 170,682 人に対する交付率は 14.37%となっている。
- 住民票の写しや印鑑証明書などの証明書等のコンビニ交付件数は。
- △ コンビニ交付を開始したのは、平成 28 年 4 月であり、28 年度は 1,416 件、29 年度は 3,649 件、30 年度は 4,612 件となっている。令和元年度についても、4 月から 9 月までの半年間で 2,574 件と順調に増加している。

- 地区連絡センターでの証明書等発行業務を停止するのであれば、マイナンバーカードの数を増やさないといけない。マイナンバーカードの交付枚数を増やす取り組みとしてどのようなことを行っているのか。
- △ 本庁のみでなく、各支所でも申請を受け付けている。また、令和元年 10、11 月には、各地区連絡センターでも申請を受け付けている。さらに、まとまった人数が必要ではあるが、申し出があれば事業所に出向いて申請を受け付ける出張申請も随時行っている。
- 令和元年度の目標件数は。
- △ 目標数値は設定していないが、出張申請など、これまで行ってきた取り組みを強化していきたい。
- 地区連絡センターでの証明書等の発行数は。
- △ 平成 28 年度は 7,619 件、29 年度は 7,386 件、30 年度は 6,900 件である。
- 証明書等のコンビニ交付件数が大きく増えているにもかかわらず、地区連絡センターの発行件数はそこまで減っていない。地区連絡センターの需要がまだ残っているのではないか。
- △ 地区連絡センターで証明書等を発行するのは、業者が多く、地域の方が地区連絡センターで発行するケースはおおよそ半分ほどである。また、マイナンバーカードの申請を奨励しており、将来的に多くの方にマイナンバーカードを取得していただければ、朝早くから夜遅くまで利用が可能で利便性が高いコンビニで証明書等を取得できることから、引き続きマイナンバーカードの普及に努めたい。
- 個人申請の場合はそれで良いが、住民票などの証明書等は業者による代理人申請もあることから民間事業者の利便性の阻害につながる可能性についても考慮し、民間事業者への周知をしっかりと行うことについて検討してほしい。(要望)
- 地区連絡センターでの掲示や地域住民への回覧で周知を行うとのことだが、それで十分だろうか。回覧を複数回行うことや、マイナンバーカードの案内も合わせて行うなどの必要がある。周知を徹底するために、どのように取り組むのか。
- △ 各地域によって効果的な周知方法が異なると考えており、その地域に適した方法を地元の方と協議し、周知を徹底していきたい。
- 市民からは地区連絡センターで証明書等が申請できなくなって困るという声も挙がっている。そういった方にも理解していただけるようしっかり周知を行っていただきたい。(要望)

[消防本部]

- 。令和元年秋季火災予防運動の概要について

〈 委員から、質疑等はなかった。 〉

2 その他

- 。次回の常任委員会の開催について

11月21日(木)午前10時に開催することが報告された。

〈 委員から、次の質疑等があった。 〉

【イノシシによる人的被害について】

- 二上山のふもとの民家でイノシシにより中学生がケガをするという事態が発生した。イノシシ対策については、産業振興部農業水産課が農作物の被害を食い止めることを目的として所管していると思うが、人がケガをした以上、他の部局でも対策を検討する必要がある。現在どのような対応をとっているのか。
- △ イノシシ対策については、農業水産課を中心に関係課が集まり、地域安全課も対策検討会議に参加している。イノシシ被害については、地域の防犯組合等に対し、情報提供を行い、連携を図っているところである。
- イノシシが出没したことに対しての事後対策を会議で検討しているという認識で良いか。
- △ イノシシの出没があったときに対策検討会議を行い、情報提供などの対応を行っている。
- 人がケガをしないための対策についても会議内で検討し、市民への周知を図っていただきたい。(要望)

〈 当局から、次のとおり報告・説明があった。 〉

〔福祉保健部〕

・認知症サポーターステップアップ講座の開催について

〈 委員から、次の質疑等があった。 〉

【ステップアップ講座の開催について】

- 講座の対象者は認知症サポーター養成講座修了者とあるが、オレンジリングの保有者全員ということでよいのか。
- △ 対象者は、オレンジリングの保有者であり、これまでに認知症サポーター養成講座を修了した延べ17,000人の方が対象となる。議員の方々には、地域の対象の方にお声がけをしていただきたい。
- 各種団体が会合を行う際などに、出前講座として認知症サポーターステップアップ講座を開催してもらうことはできないか。
- △ 現在の認知症サポーターステップアップ講座の内容には、実践活動が含まれており、講座内容全てを出前講座とすることは難しいが、傾聴をテーマとした講義やグループワークを出前講座として行うことについては令和2年度に向けて検討していきたい。
- 認知症サポーターを増やすためにも出前講座を積極的に開催してほしい。(要望)

〈 以上で委員会を閉じた。 〉

民生病院常任委員会 当局説明員（24名）

市民生活部長	梅 崎 幸 弘	市民病院長	藪 下 和 久
市民生活部次長 地域安全課長・環境政策室長	堺 啓 央	市民病院事務局長	崎 安 宏
共創まちづくり課長	室 谷 智	総務課長 栄養管理課長	新 田 裕 子
共創まちづくり課 多文化共生室長	寺 口 昌 代	医事課長	長 田 由 美 子
男女平等・共同参画課長	早 苗 伊 紀 子		
市民課長	赤 阪 典 子	消防長	寺 口 克 己
環境サービス課長	柴 野 泰 彦	消防本部次長	浦 島 章 浩
		総務課長	有 澤 智 文
福祉保健部長	鶴 谷 俊 幸	予防課長	山 口 喜 代 治
福祉保健部次長 参事	西 本 幸 夫	警防課長	布 橋 隆 男
社会福祉課長	山 本 真 弘	通信指令課長	川 端 芳 紀
子ども・子育て課長 保育・幼稚園室長	村 上 彰		
高齢介護課長	森 川 朋 子		
保険年金課長	徳 市 直 之		
健康増進課長	山 本 美 由 紀		